

宝塚野鳥の会

30周年記念誌



令和2年4月発行

宝塚野鳥の会 30 周年記念誌

目 次

宝塚野鳥の会趣旨・標語

会長挨拶	創立 30 周年を迎えて	会長	片山 忠	1
ご祝辞	創立 30 周年おめでとうございます	宝塚市議会議員	石倉加代子	3

写真で見る 30 年				4
------------	--	--	--	---

思い出の記

甲山森林公園のアカハラの思い出	会長	片山 忠	8
祝 30 周年 30 年の思い出	事務局長	石山 俊二	9
30 周年おめでとうございます		井口 信夫	12
野鳥が教えてくれたこと		持山 倫子	13
安倉北 上ノ池 コブハクチョウの悲喜こもごも		広瀬 節子	15
夏休みのことなど		佐々木 薫	17
野鳥の思い出		齋藤 文子	19
家のまわりの鳥		川道 克昌	20
ギンザンマシコが紡いでくれた旅		谷 悦子	21
創立 30 周年に思う・・・わが鳥人生に悔いなし		松村 伸	23
初谷探鳥記		"	24
花鳥足好日		松村 基子	25
鳥・雑記 30 周年おめでとうございます		原田 昭子	26
鳥撮り事始め・・・写真からバーディングへは邪道だったか？		山尾 文明	27
恋するカラス・哀しむカラス		小島 道子	30
レディースサポート 10 年の歩み		倉本 春美	31
私の鳥見人生		西出 英樹	33
私の野鳥観察 ことはじめ		長谷川 隼一	35
あのヒヨドリの鳴き声		直木 道子	38
身近にタンチョウを楽しめる吉備路ツルの里のご紹介です		彦根 宏道	39
コアジサシを追って		土井 亮二	42

俳句		吉田 一彦	44
川柳		武田 玲子	44

宝塚市の主な探鳥地		事務局	45
写真で見る主な種		"	46
宝塚市で見られた野鳥 157 種		片山 忠	47
宝塚市内鳥類観察調査		"	48
ガンカモ・カワウ調査		石田 俊二	51
秋のヒヨドリの渡り		片山 忠	52
夕カの渡り観察		石山 俊二	54

年表		片山 忠	58
----	--	------	----

表紙・裏表紙		持田 倫子	
--------	--	-------	--

創立 30 周年を迎えて

会長 片山 忠

宝塚野鳥の会は元号の平成がスタートした翌年の平成 2 年 4 月 15 日に設立され、平成の時代とともに歩んできました。元号が令和に変わり今年の令和 2 年 4 月 15 日にめでたく創立 30 周年を迎えることができました。これも偏に会員や先輩の皆様方のご尽力のおかげと厚く感謝申し上げます。今後さらなる飛躍、発展を期待したいと思います。

30 周年記念事業として、30 周年記念誌の刊行、クリアファイルの作成・配付、2 泊 3 日の探鳥旅行（戸隠、妙高）を計画しています。記念誌刊行にあたり寄稿していただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

設立の経緯、会員数の最高は 168 名

設立の経緯をみると、故川合寛初代会長が、故川村善男氏他有志と語らって 6 名で宝塚ホテルにおいて設立打合会を開催し平成 2 年 4 月 15 日に「宝塚野鳥の会」が設立されました。その後会員数も増加し、メイン事業の探鳥会も回数を増やしていきました。会員数は H10 年頃は 130 名になり、最高は H13.5.13 の 168 名です。ここから漸減し現在は R2.3.1 現在 79 名で最盛期の半数です。会員の増加が望まれます。自然を愛し野鳥を愛する同好者がおられたら勧誘してください。100 名位にしたいと思います。

会の発足当初は会の運営のため会長始め川村幹事は大変苦勞されたそうです。会の運営資金調達のため、武庫川河川敷でのフェスティバルに綿菓子や金魚すくいなどの店を出し収益を会の運営資金に充当されました。

歴代会長は次のとおり

初代	H02.04.15～H21.10.11	故川合寛氏
2 代	H21.10.11～H27.10.11	丹羽弘氏
3 代	H27.10.11～現在に至る	片山忠

定期総会と懇親会の同日開催

定期総会は道場探鳥会の日に薬師堂の前で開催していましたが、探鳥会に参加できない方が定期総会に出席できないという声があり、H30.10 月の定期総会から秋季懇親会と同日に開催することに変更しました。これにより出席者が 40 数名になり、従来より 10 数名増加しました。

年会費の改定

H29.10 月から年会費を 4,000 円から 3,000 円に改定しました。やっていけるの？という心配する声も聞きましたが、経費節減に努めてやっていきたいと思っています。

定例探鳥会とレディースサポーター

メイン事業の探鳥会は、定例探鳥会は夏を除いて月 3 回、遠隔地探鳥会は年 1 回開催しています。前者の参加者は 1 回約 20 名、後者は 20 数名の参加です。定例探鳥会をサポートするため、10 年前の H21.10 月にレディースサポーター制度を発足させています。安全の確保、新しい方のサポート、受付、会費集めなどきめ細かくやっていただき大変助かっています。引き続き定例探鳥会を盛り立ててくださるようお願いいたします。

広報

1 会報「せきれい」・・・会の設立から 2 年後の平成 4 年 8 月に創刊号を出し、年 4 回の発行で今年の新年号で通刊 111 号になりました。会員のコミュニケーションを図るとともに、当会の出来事などを収録しています。H23 年新年号の 75 号から全面カラーとして、一段と見栄えのする会報となり、H29.4.1 に通刊 100 号を記念して缶バッジを製作し配付しました。最近の H31 年新年号の 107 号から、B5 判を A4 判に変更しました。ここまで継続できたのは原稿を寄せていただいた皆様や編集に携わっていただいた石田事務局長のおかげです。厚くお礼申し上げます。

2 ホームページ・・・山尾さんをお願いしてホームページも出しています。ニュースや写真などコミュニケーションの場にもなっています。

3 作品展・・・毎年 5 月に国際・文化センターにおいて作品展を開催しています。写真、絵画、ペイント、バードカービングなど会場いっぱい力作が並んでいます。

調査観察活動

秋のタカの渡り観察とヒヨドリの渡り観察は H14 年から継続して実施しています。毎年 1 月には全国一斉ガンカモ、カワウ調査に参加しています。H30 年には宝塚市から「市内鳥類調査」の業務委託を受けて、H30.5.2～H31.1.31 の期間に市内の指定の場所での鳥類調査を行いました。確認された鳥種は 82 種でした。

野鳥観察指導

市内の小学校、自治会、コミュニティなどでの野鳥観察指導や野鳥知識の普及のための活動も行ってきました。

外部への参画

外部への参画としては平成 9 年以降「環境都市宝塚推進市民会議」のメンバーとして参加し、市環境部が行う環境フォーラムや環境パネル展にも参加、会のアピールなどで宝塚市の環境保全に携わって参りました。

表彰・受賞

中山桜台小学校愛鳥クラブのために行った自然保護教育活動に対して、H12.5.14 に日本鳥類保護連盟総裁から感謝状を贈られ、また H14.1.20 には、当会の永年に亘る自然保護活動が「ひょうごボランティア活動表彰」を受け、さらにまた、当会の自然保護活動に対してコベルコ自然環境保全基金から、H14 から 4 年間に亘り助成金を受けています。

最近では、H30.3.1 に宝塚市長表彰「すみれ賞（環境保全功労）」を受賞し、さらに R1.6.5 には「環境保全功労者」として兵庫県知事表彰を受賞しています。

巣箱

野鳥の会という「巣箱はかけないの？」と聞かれたりします。当会では H7,8 年頃には巣箱を自作して、中山登山道や塩尾寺参道に設置したりしています。その写真も残っています。巣箱は維持管理が大変で、危険を伴いますので今ではやめています。

最後に

年間を通していろいろと行事があり、皆様方のご尽力、ご協力によりここに 30 周年を迎えることができました。「継続は力なり」で次の 40 周年に向かって力強く進んでいきましょう。最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸を祈念してご挨拶とさせていただきます。

写真で見る 30 年

探鳥会



H2. 5. 13 第 1 回探鳥会



H12. 4 創立 10 周年記念探鳥会
(西宮高原 GC)



H15. 5 奈佐森林公園探鳥会



H25. 5 戸隠森林植物園



25. 6 ふるさとの森探鳥会



29. 7 乗鞍岳探鳥会



30. 4 東よか干潟探鳥会 (佐賀県)

